

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 未来創造部

所属名 地域鉄道課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョンにおける位置づけ	経費区分	事業開始年度	事業終了年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他特定財源	一般	
地域鉄道振興事業(ふるさと納税)	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和1年度	令和10年度	298			298		継続
福井鉄道設備更新特別支援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	平成20年度	令和9年度	372,696				372,696	継続
㊤地域鉄道人材確保支援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和5年度	令和8年度	19,495				19,495	拡充
地域鉄道バリアフリー推進事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和6年度	令和10年度	900	—			900	継続
㊤福井鉄道えちぜん鉄道相互乗り入れ10周年記念利用促進事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和8年度	令和8年度	2,000	—			2,000	—
えちぜん鉄道基盤整備支援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	平成14年度	令和8年度	305,609	—		305,000	609	継続
小浜線利用環境整備支援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和3年度	令和11年度	20,615	—		20,615		継続
嶺南地域観光交通情報等発信事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和5年度	令和8年度	6,590	—		6,590		継続
㊤小浜線定期利用促進事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和8年度	令和10年度	23,200	—		23,200		—
JRローカル線利用促進対策事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和3年度	令和8年度	10,000	—			10,000	継続
「鉄道観光」推進事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和5年度	令和10年度	2,000	—			2,000	継続
並行在来線対策事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	平成24年度	令和16年度	740	—			740	継続
並行在来線新駅設置支援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和2年度	令和10年度	21,250	—		21,000	250	継続
並行在来線経営安定化事業(積立)	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和5年度	令和16年度	786,317	—		396,317	390,000	継続
並行在来線経営安定化事業(交付)	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和5年度	令和16年度	770,000	—		770,000		継続
並行在来線北陸トンネル等電波遮へい対策支援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和7年度	令和8年度	182,303	—			182,303	継続
並行在来線駅まち魅力づくり支援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和5年度	令和10年度		—				その他
交通系ICカード活用効率化支援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和6年度	令和7年度		—				完了
敦賀駅乗継利便性向上支援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和6年度	令和7年度		—				完了
地域公共交通等燃料価格高騰対策支援事業	10 交流を広げる基盤整備	政策的経費	令和6年度	令和7年度		—				完了
					2,524,013			1,543,020	980,993	

		未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
10 交流を広げる基盤整備				事業開始年度	令和1年度
地域鉄道振興事業（ふるさと納税）				事業終了年度	令和10年度
事業目的	全国の鉄道ファンからのふるさと納税を財源に、駅の利用環境の改善や案内の充実など地域鉄道の魅力アップを支援することで、県内地域鉄道への誘客を図る。				
事業内容	(1) ふるさと納税返礼品 鉄道路線ごとに、来県につながる返礼品を用意（寄付額の3割上限） (2) 地域鉄道魅力アップ活動支援 ふるさと納税を活用し、駅の利用環境の改善など地域鉄道の魅力アップを支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	298			298	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	地域鉄道利用人員（千人）	5,842	—	令和7年度
	活動指標	寄付件数（件）	50	—	令和7年度
事業評価	【成果指標】 ・7年度の地域鉄道利用人員の実績は令和8年5月頃に確定する予定 【活動指標】 ・7年度の寄付件数の実績は令和8年4月頃に確定する予定				
区分	継続				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
10	交流を広げる基盤整備		事業開始年度	平成20年度	
	福井鉄道設備更新特別支援事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	福井鉄道の設備更新および大規模修繕に要する経費に対して支援を行うことにより、福井鉄道福武線の安全・安定運行の確保を図る。				
事業内容	(1) 安全・安定運行に必要な設備投資に対する支援 補助率 1/2～2/3 (国1/3～1/2)				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	372,696				372,696
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	福井鉄道利用人員 (千人)	2,167千人	—	令和7年度
	活動指標	レール交換 (km)	0.8	0.8	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <p>・7年度の福井鉄道利用人員の実績は、令和8年5月頃に確定する予定</p> <p>【活動指標】</p> <p>・第3期支援スキーム（R5～R9）の主たる工種であるレール交換・延長に対して支援を行い目標達成</p>				
区分	継続				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
10	交流を広げる基盤整備		事業開始年度	令和5年度	
	㊦ 地域鉄道人材確保支援事業		事業終了年度	令和8年度	
事業目的	鉄道事業者が実施する就職説明会開催などの運転士等の人材確保にむけた取組を支援することにより、県内地域鉄道の安定運行を図る。				
事業内容	(1) ㊦地域鉄道の広報戦略やイベントの企画・運営等を行う、地域鉄道人材確保コーディネーター（仮称）の設置 (2) 就職説明会等の開催支援 補助率 県1/2 (3) 地域鉄道就職奨励金の支給 支給額 30～40万円/人				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	19,495				19,495
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	新規採用人数（人）	33	21	令和7年度
	活動指標	説明会等開催回数（回）	4	4	令和7年度
事業評価	【成果指標】 〈外的要因〉労働市場の人手不足や求職者側の志向の変化などにより目標未達成 〈事業による要因〉 奨励金制度やイベント情報等の求職者向けの周知が不十分であったため目標未達成				
区分	拡充	【活動指標】 就職説明会や見学バスツアーを4回実施し、目標達成			

		未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
10 交流を広げる基盤整備				事業開始年度	令和6年度
地域鉄道バリアフリー推進事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	地域鉄道事業者が駅において行うバリアフリー化設備の整備等を支援することにより、高齢者や障がい者、インバウンド客を含むすべての鉄道利用者が安全かつ円滑に駅を利用できる環境を整備する。				
事業内容	(1) ハピラインふくいの鯖江、武生、しきぶにおけるバリアフリー化に要する経費の支援 補助率 県1/3（機械器具購入） 補助限度額 2,000千円/年				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	900				900
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	地域鉄道利用人員（千人）	13,142	—	令和7年度
	活動指標	補助件数（件）	2	2	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7年度の地域鉄道利用人員の実績は、令和8年6月頃に確定する予定 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハピラインふくい今庄駅のバリアフリー対応通路の新設、あわら湯のまち駅のバリアフリー対応スロープの新設に対して支援を行い目標達成 				
区分	継続				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
10	交流を広げる基盤整備		事業開始年度	令和8年度	
	⑧ 福井鉄道えちぜん鉄道相互乗り入れ10周年記念利用促進事業		事業終了年度	令和8年度	
事業目的	福井鉄道・えちぜん鉄道の相互乗り入れ10周年に合わせて、鉄道事業者が行う利用促進策を支援することにより、利用者拡大を図る。				
事業内容	(1) 福井鉄道が行う電車の特別ラッピング費用に対する支援 補助率 県1/2 (市町1/2)				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,000				2,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	地域鉄道利用人員（千人）	5,914	—	令和8年度
	活動指標	補助件数（件）	1	—	令和8年度
事業評価	—				
区分	新規				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
10	交流を広げる基盤整備		事業開始年度	平成14年度	
	えちぜん鉄道基盤整備支援事業		事業終了年度	令和8年度	
事業目的	鉄道事業の土地賃借と設備投資に要する経費に対して支援を行うことにより、えちぜん鉄道三国芦原線・勝山永平寺線の安全・安定運行の確保を図る。				
事業内容	(1) 安全・安定運行に必要な設備投資に対する支援 補助率 県2/3 (国1/3) (2) 資産取得交渉を継続している鉄道事業に供する土地の賃借料に対する支援 補助率 県10/10				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	305,609			305,000	609
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	えちぜん鉄道利用人員（千人）	3,674	—	令和7年度
	活動指標	電線路(塩害対策)の整備延長（km）	2.8	2.8	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7年度のえちぜん鉄道利用人員の実績は令和8年5月頃に確定する予定 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3期支援スキーム（R4～R8）の主たる工種である電線路（塩害対策）の整備延長に対して支援を行い目標達成 				
区分	継続				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
10	交流を広げる基盤整備		事業開始年度	令和3年度	
	小浜線利用環境整備支援事業		事業終了年度	令和11年度	
事業目的	新幹線敦賀駅から嶺南地域への主要な二次交通となる小浜線の各駅における利用環境整備を支援することにより、小浜線利用者の利便性の向上につなげる。				
事業内容	(1) 若狭本郷駅の内装・電気設備改修工事に対する支援（おおい町） (2) 市街地循環バスのバス停リニューアルに対する支援（小浜市） 補助率 県1/2（市町1/2）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	20,615			20,615	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	小浜線年間利用者数（千人）	1,500	—	令和7年度
	活動指標	補助件数（件）	1	1	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7年度の小浜線年間利用者数の実績は、令和8年6月以降に確定する予定 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若狭本郷駅の屋根・外壁改修工事に対して支援を行い目標達成。 				
区分	継続				

		未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
10 交流を広げる基盤整備				事業開始年度	令和8年度
⑧ 小浜線定期利用促進事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	嶺南6市町が一体的に実施する小浜線利用助成に対して支援を行うことにより、JR小浜線の利用促進を図り、利便性向上につなげる。				
事業内容	(1) 通学定期券、通勤定期券、シニア乗車券の購入に対する助成への支援 (2) 市町や広域団体が実施する広報、PR経費への支援 補助率 県1/2（市町1/2）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	23,200			23,200	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	小浜線年間利用者数（千人）	1,500	—	令和8年度
	活動指標	嶺南高校への周知件数（件）	6	—	令和8年度
事業評価	—				
区分	新規				

		未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
10 交流を広げる基盤整備				事業開始年度	令和5年度
嶺南地域観光交通情報等発信事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	新幹線敦賀駅において乗継案内や嶺南地域の観光情報等の情報発信を行うデジタルサイネージや広域総合案内所の設置・運営を支援することにより、新幹線敦賀駅からの公共交通の利用促進を図る。				
事業内容	(1) 敦賀駅に設置したデジタルサイネージの保守管理等への支援 (2) 敦賀駅構内への広域総合案内所の設置および運営等への支援 補助率 県2/3 (市町1/3)				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,590			6,590	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	広域総合案内所対応件数 (件)	5,800	－	令和7年度
	活動指標	広域総合案内所開所時間 (時間)	580	－	令和7年度
事業評価	【成果指標】 ・令和7年度の実績は令和8年5月以降に確定する予定 【補助件数】 ・令和7年度の実績は令和8年5月以降に確定する予定				
区分	継続				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
10	交流を広げる基盤整備		事業開始年度	令和 3年度	
	JRローカル線利用促進対策事業		事業終了年度	令和 8年度	
事業目的	JR小浜線と越美北線の沿線市町等が実施する利用促進事業に対して支援を行い、日常利用を取り込むことにより、JRローカル線の活性化につなげる。				
事業内容	(1) JR小浜線・越美北線沿線の市町・利用促進団体が実施する利用促進への支援 補助率 県1/2				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	10,000				10,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	定期外利用数（千人）	307	—	令和7年度
	活動指標	補助件数（件）	10	7	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7年度の小浜線年間利用者数の実績は、令和8年6月以降に確定する予定 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3市町において当補助金の活用がなかったため、目標を達成していない 				
区分	継続				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3 楽しみを広げる（創造力）			経費区分	政策的経費	
10 交流を広げる基盤整備			事業開始年度	令和5年度	
「鉄道観光」推進事業			事業終了年度	令和10年度	
事業目的	福井県鉄道協会が実施する鉄道ふくいフェスタに対して支援を行うことにより、本県の充実した地域鉄道の魅力を発信し、新たな観光資源として活用する「鉄道観光」を推進する。				
事業内容	(1) 鉄道ふくいフェスタ2026の開催に対する支援 補助率：県1/2 補助事業者：福井県鉄道協会				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,000				2,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	地域鉄道利用人員（千人）	13,142	—	令和7年度
	活動指標	イベント参加者数（人）	4,400	9,638	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7年度の地域鉄道利用人員の実績は、令和8年6月頃に確定する予定 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> JR福井駅コンコースでの初開催や、JR西日本、JR貨物、鉄道運輸機構、鯖江市、くるふ福井駅の共催により、過去最高の参加者数となり目標を大幅に超えて達成した。 				
区分	継続				

		未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度
3 楽しみを広げる（創造力）				経費区分	政策的経費
10 交流を広げる基盤整備				事業開始年度	平成24年度
並行在来線対策事業				事業終了年度	令和16年度
事業目的	「ハピラインふくい利用促進協議会」において地域団体等が実施する利用促進活動を支援することにより、開業後も厳しい経営が予想されるハピラインふくいの安定的な経営につなげる。				
事業内容	(1) ハピラインふくい利用促進協議会負担金 (2) 第三セクター鉄道等道府県協議会負担金				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	740				740
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	ハピラインふくい利用者数 (万人/日)	2	—	令和7年度
	活動指標	奨励金の補助件数 (件)	3	3	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7年度のハピラインふくい利用人員の実績は、令和8年6月頃に確定する予定 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大土呂駅の駅舎清掃、鉄道ふくいフェスタ2025 inさばえの開催、しきぶ駅開業時の地元園児による記念乗車事業に対して補助を行い、目標達成。 				
区分	継続				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和8年度	
3 楽しみを広げる(創造力)			経費区分	政策的経費	
10 交流を広げる基盤整備			事業開始年度	令和2年度	
並行在来線新駅設置支援事業			事業終了年度	令和10年度	
事業目的	ハピラインふくいが実施する福井市新駅(福井・森田間)の整備に要する経費に対して支援を行うことにより、ハピラインふくいの収支改善を図る。				
事業内容	(1) 新駅の詳細設計に対する支援 補助率 県1/2(市1/2) ※国庫補助を除く				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	21,250			21,000	250
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	新駅利用者数(人/日)	—	—	令和7年度
	活動指標	補助件数(件)	2	2	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅が完成してから効果が発出するものであるため、目標設定になじまない。 しきぶ駅(令和8年3月供用開始)利用者目標:570人/日 福井市新駅(完成時期未定)利用者目標:480/日 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> しきぶ駅の本体工事、福井市新駅の基本設計に対して支援を行い目標達成 				
区分	継続				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3 楽しみを広げる (創造力)			経費区分	政策的経費	
10 交流を広げる基盤整備			事業開始年度	令和5年度	
並行在来線経営安定化事業 (積立)			事業終了年度	令和16年度	
事業目的	経営計画に基づき、「福井県並行在来線経営安定基金」への積立を行い、ハピラインふくいの経営を支援する。				
事業内容	(1) 経営安定基金の積立 拠出額：786,317千円 (一般財源390,000千円、諸収入390,000千円、財収6,317千円) 拠出割合：県50%、沿線市町50%				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	786,317			396,317	390,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	ハピラインふくい利用者数 (万人/日)	2	—	令和7年度
	活動指標	収支改善に資する利用促進策の実施	3	3	令和7年度
事業評価	【成果指標】 ・7年度ハピラインふくい利用人員の実績は、令和8年6月頃に確定する予定 【活動指標】 ・敦賀駅乗換IC改札機の設置、新駅「しきふ駅」の開業、今庄駅のバリアフリー化工事の実施により目標達成。				
区分	継続				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3 楽しみを広げる（創造力）			経費区分	政策的経費	
10 交流を広げる基盤整備			事業開始年度	令和5年度	
並行在来線経営安定化事業（交付）			事業終了年度	令和16年度	
事業目的	経営計画に基づき、「福井県並行在来線経営安定基金」への交付を行い、ハピラインふくいの経営を支援する。				
事業内容	(1) 経営安定基金の交付 交付額：770,000千円				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	770,000			770,000	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	ハピラインふくい利用者数(万人/日)	2	—	令和7年度
	活動指標	収支改善に資する利用促進策の実施	3	3	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7年度ハピラインふくい利用人員の実績は、令和8年6月頃に確定する予定 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 敦賀駅乗換IC改札機の設置、新駅「しきふ駅」の開業、今庄駅のバリアフリー化工事の実施により目標達成。 				
区分	継続				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3 楽しみを広げる（創造力）			経費区分	政策的経費	
10 交流を広げる基盤整備			事業開始年度	令和7年度	
並行在来線北陸トンネル等電波遮へい対策支援事業			事業終了年度	令和8年度	
事業目的	携帯電話の電波が通じないハピラインふくい線の北陸トンネル等における電波遮へい対策工事の実施を支援することにより、利用者の利便性向上を向上させるとともに、災害時の通信手段を確保することにより、安全性の向上を図る。				
事業内容	（1）移動通信基盤整備協会が行う電波遮へい対策工事に係る経費のうち、鉄道事業者分を支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	182,303				182,303
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	利用者の利便性・安全性向上	—	—	令和7年度
	活動指標	対策完了トンネル数（個）	2	0	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸トンネル等を通過する利用者の利便性向上、災害時の安全性向上を行うものであり、成果指標の数値の設定になじまない <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・列車運行等の制約による夜間作業時間の確保困難により目標を達成していない。 				
区分	継続				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3 楽しみを広げる（創造力）			経費区分	政策的経費	
10 交流を広げる基盤整備			事業開始年度	令和5年度	
並行在来線駅まち魅力づくり支援事業			事業終了年度	令和10年度	
事業目的	駅機能や交通結節機能の向上、駅を中心としたまちづくりに取り組む市町に対して支援することで、交通利便性の向上や駅周辺の賑わいの創出を促し、ハピラインふくい利用者数の増加につなげる。				
事業内容					
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	しきぶ駅利用者数（人/日）	—	—	令和7年度
	活動指標	整備駅数	1	1	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅が完成してから効果が発出するものであるため、目標設定になじまない。 しきぶ駅（令和8年3月供用開始）利用者目標：570人/日 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しきぶ駅における交通系施設（ロータリー、歩行者用通路、駐輪場等）の整備を行い目標達成 				
区分	その他	※しきぶ駅は完成したため令和8年度は事業費は発生しないが、9年度以降に福井市新駅、春江駅整備において継続して事業を実施			

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
10	交流を広げる基盤整備		事業開始年度	令和6年度	
	交通系 ICカード活用効率化支援事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	福井鉄道、えちぜん鉄道に対して「ICOCA Web定期券サービス」の導入を支援することにより、利用者の利便性向上と事業者の負担軽減を図る。				
事業内容	(1) 「ICOCA Web定期券サービス」導入に対する支援 補助率 県10/10				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,000			2,000	2,000
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	定期券購入の利便性向上	—	—	令和7年度
	活動指標	Web定期券サービスの導入数（社）	2	2	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICOCA定期券購入の利便性向上を図るものであり、成果指標の数値の設定になじまない <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井鉄道とえちぜん鉄道における「ICOCA Web定期券サービス」の導入に対して支援を行い目標達成 				
区分	完了				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
10	交流を広げる基盤整備		事業開始年度	令和6年度	
	敦賀駅乗継利便性向上支援事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	JR敦賀駅改札内へのICカード用乗継改札機の設置を支援することにより、ハピラインふくい線とJR線の乗継利便性の向上を図る。				
事業内容	(1) JR敦賀駅改札内ICOCA簡易改札機（入場・出場）の設置に対する支援 補助率 県10/10				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	20,000			20,000	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	敦賀駅乗継時の利便性向上	—	—	令和7年度
	活動指標	簡易改札機の設置数（セット）	1	1	令和7年度
事業評価	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR敦賀駅改札内における乗継時の利便性向上を図るものであり、成果指標の数値の設定になじまない <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR敦賀駅改札内におけるICOCA簡易改札機の設置に対して支援を行い目標達成 				
区分	完了				

	未来創造部	地域鉄道課	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
10	交流を広げる基盤整備		事業開始年度	令和6年度	
	地域公共交通等燃料価格高騰対策支援事業		事業終了年度	令和7年度	
事業目的	県民生活や経済活動を支える社会インフラとして事業を継続している鉄道事業者に対して、電気料金の高騰分を支援することにより、地域鉄道の運行の継続を図る。				
事業内容	(1) 鉄道事業者の電気料金高騰分に対する支援 (R7.7~9、R8.1~3) 福井鉄道：833千円/月 えちぜん鉄道：2,350千円/月 ハピライン：3,833千円/月				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	42,096		21,048		21,048
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	全国的な課題への対応であるため設定なし	—	—	令和7年度
	活動指標	全国的な課題への対応であるため設定なし	—	—	令和7年度
事業評価	福井鉄道とえちぜん鉄道、ハピラインふくいの電気料金高騰分に対して支援を行い、地域鉄道の安定運行につなげた。				
区分	完了				